

学校便り

着任のご挨拶

中・高(茨木) 校長 相馬 すみひこ



山桜会会員の皆様には、平素より本校の教育に対して、ご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。岡本平前校長のご退任のあとを受け、1月1日付で追手門学院中・高等学校長に就任いたしました。前校長同様、よろしく願い申し上げます。

さて、3月29日にはご来賓各位のご臨席のもと、新校舎の竣工式を執り行うことが出来ました。新校舎建設は私どもにとりまして、教育改革のシンボルであり、今後の教育活動の大きな推進力となるものです。新学期、生徒たちは新校舎に足を踏み入れるなり歓声を上げて喜んでおりました。最新設備のすばらしい教育環境が整い、今年からはこの施設を生かした教育を進めていく所存です。

すなわち、新しい設備機器を生かした教育の情報化をはじめ、「追手門メソッド」の確立を課題に、難関国公立大学合格を目指した取り組

みを進めてまいります。これと並行して、4月から中・高において「社会に視野を広げる」をテーマに小論文指導を行い、「主体的な進路観」「書く力」「考える力」の育成に取り組んでいます。さらに、中学校での「将来を考える日」を発展的に継承し、高校でも「進路学習」を系統化し、勤労観・職業観を養いキャリア教育を充実していきます。このように、目に見える「学力」を下支えする目に見えない「学力」の育成にも力を注ぎ、結果として大きく学力を伸ばすこと、また生徒自身が自分の成長を実感できることを目指します。ここでは書き切れないその他の取り組みを含めて、第II期の改革を推進し、中・高等学校の特色を打ち出していきたいです。

教職員一同、力を合わせ、心一つにして、生徒たちの教育に専念する所存でありますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

学校便り

校舎惜別の会

準備責任者 中・高(茨木) 教諭 薊村 栄子

4月12日(土)2時、体育館アリーナを会場にたくさんの懐かしい顔が集まりました。校舎惜別の会は理事長、学院長、山桜会会長、校長のあいさつに続いて、出席いただいたOBの先生方の紹介等穏やかに始まりました。

その後、新校舎前の階段で4グループに分かれて、記念写真を撮影し、続いて自由に校舎見学をしていただきました。新校舎に引っ越した後の4階教室に机椅子を用意し、皆様をお待ちしていました。その教室にやがて、入れ替わり立ち替わり、いくつものグループが集まり、タイムスリップした空間に笑顔が溢れ、歓声が響きました。新校舎の見学も同時に行われましたが、時間の大半は旧校舎で過ごされたようです。

準備のお世話をいただいた卒業生の皆様、本当にありがとうございました。おかげさまで、思い思いに41年分の卒業アルバムを各年の流行の曲を聴きながらパソコンで閲覧し、スクリーンで各期のクラス集合写真を見ていただくことができました。一堂に会してスナップ映像のスライドショーに、懐かしいひと時をともに過ごすこともできました。

続く懇親会では懐かしいOBの先生方からのお話、各期の代表の方々からの思い出話もいただきました。トリは学院歌の大合唱です。昔

懐かしの応援団長のエールに、一同元気づけられ、お開きとなりました。

新校舎をまだご覧になっていない方は、是非足をお運びください。カリキュラムや制服が変わり、校舎が変わってもなお、息づいている追手門の精神に触れていただくことができると思います。今回のI期建設では教室棟のみの新築ですが、いずれII期建設に入れば、同窓会の部屋も用意する予定であります。旧校舎は55期生に卒業記念品として残してもらった「校舎のジオラマ模型」という形で、いつまでもご覧いただくことができます。

最後になりましたが、校舎惜別の会を開くにあたり、山桜会からも多大のご支援・ご協力を賜りました。紙面を借りまして、御礼申し上げます。

